

24時間救急受け入れ

角田 司

川崎医大付属病院長

(倉敷市松島)



大学病院としての専門高度な医療を通して地域に貢献したい。救急は24時間受け入れる体制をとっている。絶対に断らない。救命救急センター、ドクターヘリがあり、機動力は万全。救急医だけでなく、全国の大学病院初の脳卒中科、心筋梗塞、狭心症に対応する循環器科、心臓血管外科、小児救急など専門医が当直しており、難しい手術も十分こなす。がん手術は臓器別に専門医が最先端治療を行い、診療科の壁を越え手術する患者本位の治療体制。慢性疾患も対応しています。

がん治療専門に一筋

山本泰久

おおもと病院長

(岡山市大元)



1977年開設し診療科目は外科だけ。胃腸の消化器がん、乳がんの専門病院としてやってきた。自分が岡大病院でがん治療一筋にやっていたのでその経験を社会で生かそうと84床の専門病院をつくった。現在専門医は消化器がんが6人、手術は年間約120例、乳がんは4人で200～220例。医師も看護師も同じ手術、治療をするので、切除の手技、患者の症状の変化への対応も読め、治癒率は高く患者に貢献できる。薬、検査機器、人手もむだがなく、経営効率はよい。

真庭圏の医療拠点形成

金田道弘

金田病院長

(真庭市西原)



金田病院(199床)は近くの落合病院(同)と連携し真庭圏(真庭市など人口約5万5000人)の医療拠点を形成している。お互いの診療内容を尊重し患者を紹介し両病院で圏内の約5割の救急患者を受け入れている。院長同士が話し合い「地域住民の安心医療のために」とライバル病院が共同歩調をとっている。がん、脳卒中、心臓病治療は岡大、川崎医大、岡山医療センター、津山中央病院などとネットワークを組む。24時間以内の重傷者転送は川崎医大付属病院が最多です。

私の意見

山陽新聞
いきいき健康ネット
<http://iryo.sanyo.oni.co.jp>